



第 161 号
昭和40年2月20日
発行所
宮崎県東郷郡
東郷村役場

「成人の日」を迎えられた 方々に

一月十五日「成人の日」に本村の成人式が役場で行われ
六八名の青年たちに成人証書と記念品が贈られて青年た
ちの前途が祝福されたその際の村長の式辞であります

成人を祝して

村長 黒木 松美

成人となられた皆さんに
心からお祝い申し上げます
新しい時代を迎えた日本
では、国民の祝日として
「成人の日」を加え、国民
こぞ皆皆さんの成人を祝
うようになったことは、そ
の意義が極めて大きいもの
と考へます
満二十才になったことに
ついて、皆さんはそれほど
の感慨を持たないかもしれ
ませんが、社会的には深い
意義があることを十分に考
へていただきたいと思います
それは選挙権の行使が認



成人式寸景
黒木村長の式辞に
きき入る青年たち

我が国の祝日は9日ありま
すが皆大きな意義を有し、
国民生活に励ましと潤い
を与えてくれています。その
中、成人の日が最も重要な
日であり、その意義は、
「成人」の日と5月の空
に鯉の泳ぐ「子供」の日で
は、両方とも人間の成長過
程をあらわす、すこやかに成
長せよ、若人の将来に祝福
され、全国民が祝い、激励
するよい日であつてまことに
人間尊重の面目躍如たるも
のがあります。皆さんは昭
和二十年に生を受け、すな
わち終戦のうらに成長され
た時勢のうちに成長されま
した。幼くして最大の試験
を経験された一人なので
す。東洋の一角に日出づる
この日本を文化の香り高い
富み栄える平和な理想郷に
築きあげる者は、この試験
に堪えてかくもすこやかに

「成人の契から」 私の喜び

村議会議員 新名 岩喜

満二十才を迎えた皆さんは
立派に完成された成人とし
て、みずから責任を自分
一人で負うことが要請され
ていることをお考え下さ
い。
国民最高の権利ともい
ふべき選挙権を持つようにな
ったことが何よりの証拠と
いってよいでしょう。しか
しながら完成された人間に

昭和四十年 村県民税の申告について

※(申告書の提出は三月二
十日までです。期限までに
忘れずに提出して下さい。
又所得税を申告する人は所
得税の申告と同時に申告書
の受付けをいたします)※
昭和四十年一月一日現在
本村に居住している人はす
べて申告書の提出をして頂
ようお知らせします。

一、申告書説明会日程

説明期日	該当区名	説明会場及時間
三月一日	羽坂鶴の内小野田役場講堂	午後七時
三月二日	越表、下渡川 各区長宅	"
三月三日	坪谷、瀬平、仲深各公民館	"
三月四日	迫の内、八重原 迫の内公民館	"
三月五日	寺迫、田野 寺迫農協 田野公民館	午後七時

二、申告書記載指導受付

受付期日	受付区	受付場所及時間
三月八日	小野田	役場講堂午前九時
三月九日	越表、下渡川	区長宅 二十時
三月十日	坪谷(榎木仲崎を 除く)	公民館 午前九時
三月十一日	瀬平、榎木、仲崎	榎木組合長宅 十七時
三月十二日	仲深	公民館 午前九時
三月十三日	羽坂	公民館 午後七時
三月十五日	迫の内	公民館 午後七時
三月十六日	八重原	公民館 午後七時
三月十七日	鶴の内	公民館 午後七時
三月十八日	福瀬	公民館 午後七時
三月十九日	長崎、庭田、吉牟、 田中、中尾、寺迫、 山の口、落鹿、山の口	公民館 午後七時

或結婚式に参列して

小野 弘

昨年の夏、或友人から子
供の結婚式に案内を受け
た。思いがけぬことであ
った。わがわがの招待であ
り近頃憂鬱な生活に一寸
光りが出た。親族の紹介が
あって、親族の紹介があら
う。親族の紹介があらう。
分になって、兎角その日出
掛けることにした。新装な
った式場、着飾った両親や
親族来賓の人々もみちがえ
る様にそれぞれの装いをこ

二月の雨

牧 水

しみじみとけふ降る雨はききさきさきの
春のはじめの雨にあらずや
竹の葉を椎杉の葉をたわたわに
うち濡らし降るききさきさきの雨
窓さきの暗くなりたるききさきさきの
強降雨を見てなまけをり

私の傍にいた新婚の夫婦は
私の熱意をこめた祝辞には
全く無関心で旅行が何かの
打合せに忙しうらくひそ
ひそと話をしていた。
自分としては話の出来も
まあまあと思われたし精一
杯の誠意を尽くしたと思っ
たけれど仕方ないことであ
った。自分が余り自惚れし
たのがよくなかったと思
うし、若い人と年配したも
の、差異でもあろうと考
えた。
その次に祝辞に立った
人が「夫婦生活は愛情だけ
で完全ではない」と述べて
私の考えに反論するかの様
な祝辞を述べた。勿論その
人は反論ではなく、私の祝
辞に敷えんして中広い祝辞
で聞いている人達を唸らせ
る考へでいたのだらうが
私は真向から「愛情だけで
夫婦生活は完全でない」と云
われると、心中穏でないも
のを感じた。この言葉は確

生きる態度

岩切 富二夫

昭和四十年の新春に、二
十の春を迎えられた諸君に
心からおよろこびを申しあ
げます。
※先般卒業生の就職してい
る名古屋近郊の職場を訪
て見ました。A君は就職
以来満三年働きの定年
時制の高校で今も勉強を
つづけており、B君は一
就職して最初は同じ高校
生でいたが現在はやめて
いるそうです。
※私は上級学校を卒業した
人間が必ずしも立派な人間
とは限らないと思ひます。

人生を明日に 賭けないで たけなす

坪谷中学校長 鈴木 頼助

十代の青春に別れを告げ
て成人への門出を告げる
成人の日。この日は、
十代の過去を振り返り、
成人としての責任を自
覚し、未来を展望する
重要な日である。明日
は、成人としての第一
歩を踏み出す日であ
る。人生は明日に賭
けないで、今日から
努力を怠らぬ。明日
は、成人としての責
任を自覚し、未来を
展望する重要な日
である。明日は、成
人としての第一歩を
踏み出す日である。
人生は明日に賭け
ないで、今日から
努力を怠らぬ。明日
は、成人としての責
任を自覚し、未来を
展望する重要な日
である。明日は、成
人としての第一歩を
踏み出す日である。

